

# 年報

—平成13年度—

2002

大磯町郷土資料館

## 目次

[事業報告]	
庶務 .....	2
・組織および職員	
・運営委員会	
・予算	
・維持管理	
・入館者	
学芸 .....	4
・特別展	
・企画展	
・学級・講座	
・刊行物	
・調査・研究・普及	
・博物館実習	
・博物館資料の収集と利用	
文化財 .....	21
・文化財専門委員会	
・文化財保護	
・埋蔵文化財	
[研究報告]	
ウミガメに関する活動の記録	
北水慶一 .....	26



事業報告

## 庶務

### ■組織および職員



荻島格造 (～平成13年8月)

大津修巳 (平成13年8月～)

柏木功男

課長 今井 正

館 長 (嘱託)

主 幹

主 査/学芸員

主 査/学芸員

主任主事/学芸員

臨時職員

臨時職員

臨時職員

臨時職員

飯田敏明

小清水努

佐川和裕

國見 徹

北水慶一

加藤廣美

高山恵子

渡邊恵子

遠藤 仁

### ■運営委員会

#### <委員の構成>

- ・委員 長/石田和夫 (学識経験者)
- ・副委員長/廣瀬利郎 (社会教育委員)
- ・委員/稲葉和也 (文化財専門委員)
- 蒲生 晃 (学校長)
- 近藤英夫 (町史編集委員)

#### <委員会の開催>

- ・第1回/平成13年9月26日 平成12年度年報(案)、平成13年度事業計画ならびに進捗状況ほか
- ・第2回/平成14年2月26日 平成13年度事業の進捗状況、平成14年度事業概要ほか

### ■予算

#### <当初予算の推移>

単位:円

年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
金額	63,697,000	62,040,000	57,439,000	57,666,000	69,757,000	62,801,000

□郷土資料館費 62,801,000円      □文化財関係費 10,402,000円      ■計 73,203,000円

#### <平成13年度決算>

単位:円

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	東海道400年	企画展
金額	51,100	6,722,976	14,748,679	2,127,610	738,371	885,556
事業	教育普及	文化財専門委員会	文化財調査保存	堂後下横穴墓群発掘調査	計	
金額	60,225	141,000	5,680,360	4,377,897	35,533,774	

□職員給与(5人分) 36,251,027円      ■歳出合計 71,784,801円

### ■維持管理

#### <委託業務>

- ・清掃委託/(株)フジワールド、(株)リンレイサービス神奈川支店
- ・空調設備・給水設備保守委託/高砂熱学工業(株)横浜支店

- ・消防用設備保守委託／(有) 湘南消防器具商会
- ・昇降機保守委託／ダイコー (株) 横浜営業所
- ・自動ドア保守委託／(株) 神奈川ナブコ
- ・自家用電気工作物保守委託／小島電気管理事務所
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業 (有)
- ・警備委託／(株) 全日警横浜支社
- ・燻蒸業務委託／関東港業 (株)
- ・敷地管理委託／(財) 神奈川県公園協会
- ・動物剥製委託／(有) ニヶ崎科学標本社

#### <施設の修繕>

- ・レーザーディスク修理／湘南家電
- ・給水管漏水修理／(有) 岩田土木工
- ・キュービクル内 VCB (真空式遮断機) 修繕／(有) 望月電気工事
- ・給水装置 FMバルブ交換／高砂熱学工業 (株) 横浜支店
- ・ワープロ修理／(有) 大川書店
- ・常設展示室天井水銀灯漏電改修／(有) 望月電気工事
- ・屋内消火栓設備修理／(有) 湘南消防器具商会
- ・外灯 (水銀灯) 修繕／(有) 望月電気工事
- ・便所つまり修繕／(有) 岩田土木工

## ■入館者

### <入館者の推移>

単位：人、日

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	累計 (昭和63年～)
入館者数	28,857	28,415	28,252	25,395	32,886	471,636
1日平均/開館日数	103/278	100/282	101/279	91/277	117/281	123/3,826

### <月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	3,089	3,281	1,593	1,376	2,202	2,380	3,707	6,085	1,979	1,790	2,149	3,255	32,886
1日平均	128	131	79	57	84	103	142	253	94	85	97	130	117

### <見学・視察>

館対応のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	5	5	0	0	2	2	2	0	0	1	1	18

### <研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	16	16	13	17	11	20	17	16	11	12	15	16	180

## 学 芸

### ■特別展

東海道宿駅制度 400 年記念巡回展「二宮・大磯・平塚を結ぶ道—東海道—」

期 間 平成 13 年 9 月 16 日 (日) ~ 10 月 28 日 (日)

開場日数 36 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 200 点

料 金 無料

入場者数 4,974 人

(趣 旨) 慶長 6 年 (1601)、徳川家康によって東海道の宿駅・伝馬制度が制定されてから今年で 400 周年を迎える。これを記念して各地で関連事業が展開されており、神奈川県内の各博物館でも東海道や道をテーマとした展覧会が順次開催されている。当館においては平塚市博物館との共催として巡回展を開催する。

(内 容) 大磯町郷土資料館および平塚市博物館所蔵の宿場資料、ならびに中間の宿本陣資料(和田家蔵)を展覧し、大磯宿・平塚宿・二宮間の宿(山西村梅次)における各宿の規模や役割を比較するとともに、往還松並木・傍示杭・一里塚・見附・高札場・問屋場・本陣・脇本陣・旅籠屋などの街道と宿場の諸施設についてその実態を紹介した。

① 大磯町郷土資料館会場(平成 13 年 9 月 16 日~10 月 28 日)

② 平塚市博物館会場(平成 13 年 11 月 3 日~12 月 23 日)

③ 追加展示/二宮町生涯学習センター会場(平成 14 年 1 月 24 日~2 月 3 日)

(担 当) 佐川



### ■企画展

「新収集資料展」

期 間 平成 13 年 5 月 1 日 (火) ~6 月 17 日 (日)

開場日数 39 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 200 点

料 金 無料

入場者数 4,363 人

(趣 旨) 博物館の大きな役割のひとつである「博物館資料の調査収集活動」の成果を利用者へ還元するために、平成 12 年度の収集資料(寄贈・移管・採集・購入・製作)を選抜して展示する。資料や情報の収集には、大磯町内外の多くの方々によるご理解とご協力の賜物であることを再認識し、感謝の念を込めつつ館収蔵資料の活用促進を含めた情報提供の場とする。また、展示をご覧になった方々から、資料についての情報をいただくことで、博物館資料としての価値を更に高めることを期待する。

(内 容) 平成 12 年度は、寄贈・移管・採集・購入・製作を含めて 70 余件、総点数にして 1000 点を超える資料が収集され博物館資料として活用を待ち望んでいる。本展示では、平成 12 年度収集資料のうち特徴のある 20 件 200 点余りの資料を選び、<くらしの器><くらしの中の意匠><くらしの変革><ハレの日の彩り><職人の道具><江戸から明治へ><戦争の記憶><自然と環境>という 8 つのテーマに分けて展示した。

(担 当) 佐川



### 「相模湾のウミガメ」

期 間 平成 12 年 7 月 21 日 (土) ～ 9 月 2 日 (日)

開場日数 36 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 100 点

料 金 無料

入場者数 3,017 人

(趣旨) 相模湾ではアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ、オサガメの 4 種のウミガメが確認されている。近年、当町ではアカウミガメの産卵は見られないが、死体漂着は度々確認されている。アカウミガメの死体漂着という事象に注目し、県内および町内での産卵、死体漂着の状況、相模湾で確認されているウミガメの種類と生態を紹介。町内海岸の経年的環境の変化を考える機会とする。

(内容) 本展はくウミガメの種類と生態<大磯町におけるアカウミガメ漂着の記録><神奈川県におけるアカウミガメ産卵の記録><1993 年漂着のウミガメの骨回収の記録>の 4 つのテーマで構成した。くウミガメの種類と生態>では、4 種のウミガメの形態的特徴、生態を紹介した。アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの本剥製もあわせて展示した。く大磯町におけるアカウミガメ漂着の歴史>では、1993 年から 2000 年までの町内海岸におけるアカウミガメ漂着の記録を紹介した。漂着年月日、固体の甲長、甲幅とともに確認した位置図を紹介した。く神奈川県におけるアカウミガメ産卵の記録>では、論文から産卵記録を抽出し図示した。く1993 年漂着のウミガメの骨回収の記録>では、アカウミガメの死体漂着から骨を回収し、クリーニング、展示に至った経過を紹介した。あわせて実物資料も展示した。

(担当) 北水



### 「鈴木茂一コレクション展」

期 間 平成 13 年 12 月 9 日 (日) ～ 平成 14 年 2 月 3 日 (日)

開場日数 38 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 70 点

料 金 無料

入場者数 3,192 人

(趣旨) 当館所蔵の鈴木茂一コレクションは、大磯町を中心に神奈川県、静岡県、長野県、和歌山県と全国各地で採集された植物の標本である。明治 44 年から大正 7 年に採集されたものであり、なかには現在、当町で見られなくなった種類も含まれている。特に大磯町高麗山採集のケハイザクラは、大磯の地名から名づけられたものであり、同地が基準産地になっている。地域資料としての価値は非常に高いものと思われる。同氏の収集の成果を紹介するとともに、近代の大磯の植物相を鑑みる場とする。あわせて今現在、経歴が不明な鈴木茂一氏の情報を収集することを目的とする。

(内容) く大磯町内での採集植物><神奈川県内での採集植物><神奈川県外での採集植物><ケハイザクラ>の 4 つのテーマで展示を構成した。く大磯町内での採集植物><神奈川県内での採集植物><神奈川県外での採集植物>では、同氏採集の植物腊葉(さくよう)標本を中心に展示し、採集当時の高麗山付近の様子をイメージさせる絵はがきを参考資料として展示した。くケハイザクラ>では、ケハイザクラの植物腊葉標本とともに、牧野富太郎博士のケハイザクラ採集日の手記、学術発表された文献である植物研究雑誌(ともに部分複写)を紹介した。本展は鈴木茂一氏についての情報を収集することも目的としていたが、県内外の施設ならびに個人の方から多くの情報をいただくことができた。

(担当) 北水



### 「漂着物展」

期 間 平成14年3月3日(日)～4月7日(日)

開場日数 29日間

会 場 企画展示室

出品点数 約1000点

料 金 無料

入場者数 3,935人

(趣 旨) 平成12年度から継続的に行っている「海の教室」では、さまざまな視点から海を考えることを主旨として活動を進めてきた。なかでも、ビーチコーミングから海やそれを取り巻く環境を知ろうとする内容は、活動の中でも大きな位置を占めており、徐々に資料も収集されてきた。そこで、これまでの漂着物に関する情報を



を総括し、あわせて「海の教室」の活動成果の一部を、多くの方々に還元することを目的とする。

(内 容) 漂着物ひとつひとつには個性があり履歴がある。漂着物が語ってくれるさまざまな話に耳を傾けるために、6つのテーマを設けて展示を構成した。まず、企画展示室入口には、海藻や貝とともにテグス、ルアー、発砲スチロールなどがからみついたゴミの塊を展示した。また、展示室中央のステージには、漂着したさまざまな流木を大量に配し、直接手で触って流木の温かな旅路に思いをめぐらせることができるようにした。これらはいわば本展のシンボル展示として位置づけた。次いで、各テーマのうち<相模湾と大磯>では、相模湾の海図や昨年の黒潮の流れ<海況速報>を用いて漂着のメカニズムを概観した。<地球と生物>では、漂着したさまざまな生き物や南島からの椰子の実、あるいは火山活動による軽石など、ダイナミックな観点から漂着物をとらえようとした。<未知の世界>では、神仏の漂着を例に、古くから人々が海に対して抱いてきたイメージを探った。<くらしと環境>では、更に細かなテーマを設けながら、私たちの暮らしと環境とのかかわり、あるいは私たち自身のモラルについて考えた。<漂着物を楽しむ>では、海の楽しみ方のひとつとしてビーチコーミングアートを取り上げ、「海の教室」参加者を中心に漂着物を使った作品を募り展示した。特にまきば幼稚園からは全面的にご協力をいただき、園児全員から作品が寄せられた。<「海の教室」の活動から>では、これまでの海の教室の活動記録を紹介し、興味ある方の参加を呼びかけた。

(担 当) 佐川

### ■タイムカプセル巡回展

「2100年への旅」

期 間 平成13年10月26日(金)～平成14年1月22日(火)

会場日数 63日間

会 場 エントランスホール

出品点数 10点

料 金 無料

入館者数 9,854人

(趣 旨) 神奈川県博物館協会45周年事業の一環として東京新聞横浜・川崎支局との共催で実施。西暦2000年を記して20世紀を記念する品々を納め、100年後の世代に伝えることを目的とする。納入物は約300の団体・個人から寄せられた114件約430点である。平成12年1月18日にタイムカプセルの設置・封印式が行なわれ、その後県内の博物館を巡回展示されている。



(内 容) エントランスホールの一角に、展示ケースに入れたタイムカプセルを展示した。また、背後の壁面には、納入物の目録や写真のパネルを配置した。

(担 当) 園見



### ■生涯学習課生涯学習スポーツ班主催展示

「大磯在住作家による 現代の工芸四人展」  
期 間 平成13年11月3日(土)～25日(日)

会場日数 19日間

会 場 企画展示室

出品点数 27点

料 金 無料

入館者数 5,586人

(趣 旨) 大磯町にお住まいの、第一線で活動されている芸術家の方々の優れた作品を身近で鑑賞し、質の高い文化に触れることにより自己の教養を高めるとともに、未来の大磯文化の創造を目指し、共に考え、語り合う契機として開催する。

(内 容) 大磯町内に在住の現代工芸作家である、音九 淳(漆芸)、小野寺玄(陶芸)、藤塚松星(竹芸)、川瀬 忍(陶芸)の各氏の作品を展示した。また、会期中に「四人展の見どころ」として矢部良明氏(郡山市立美術館館長)による講演会を開催した。

(担 当) 生涯学習課生涯学習スポーツ班



### ■学級・講座

<民俗に親しむ会>

日 時 平成13年4月19日(土)、5月26日(土)、6月16日(土)、7月13日(土)、  
8月25日(土)、9月22日(土)、10月20日(土)、11月17日(土)、12月15日(土)  
平成14年1月19日(土)、2月16日(土)、3月16日(土)

会 場 当館研修室

参加者 延70人

(内 容) 平成11年度から継続している講座で、資料館の民俗資料整理を通して、地域の文化伝承に関わりを持つとともに、地域の方がお持ちの情報や知識を提供していただきながら、さまざまな活用の可能性を広げることが目的とする。活動内容は平成11年度より引き続いて衣類資料の整理を行なっているが、特に13年度は活動の成果を多くの方々に還元するために、近い将来に展示等を企画することを念頭においた活動を展開した。

(担 当) 佐川



<草と木の調査>

日 時 平成13年4月28日(土)、5月12日(土)・26日(土)、6月9日(土)・23日(土)、  
7月14日(土)、8月4日(土)・25日(土)、9月8日(土)・22日(土)、10月13日(土)、  
11月10日(土)・24日(土)、12月8日(土)、平成14年1月12日(土)・26日(土)、  
2月9日(土)・23日(土)、3月9日(土)・23日(土)

会 場 当館研修室、町内

参加者 延170人

(内 容) 城山公園の植物をテーマに調査を主体とする講座を行った。本講座は1年間を通じた活動の中で四季の移り変わりを感じることに、身近な植物を学ぶことを目的とした。具体的な活動としては、毎回参加者を3～4班のグループに分け、園内を班ごとに回り確認できた植物の名前と位置を記していった。本講座のまとめとして、城山公園の植物目録、城山公園花ごよみ、植物地図を作成した。

(担 当) 北水



#### <海の教室>

日 時 ①平成13年5月13日(土)、②7月27日(土)、③10月27日(土)、  
④平成14年3月24日(日)

会 場 大磯町内(大磯照ヶ崎～北浜海岸)、真鶴港

参加者 延67人

(内容) 平成12年度から開始している講座で、地域博物館の可能性を求め、分野にこだわらずに、生の地域資料を利用しながら、新しい学習領域の提示をも念頭においている。「海」をメインテーマとして、長いスパンで継年的に取り組む。海を知るためには海ばかりを見ていたのでは十分でないことを認識しながら、海という素材に対して可能な限りさまざまな視点からアプローチしようという試みである。ビーチコーミングを3回、海と人々の暮らしを考える見学会を1回実施した。なお、④のビーチコーミングは、企画展「漂着物展」の関連事業としても位置づけた。



① ビーチコーミング(場所/大磯照ヶ崎海岸～北浜海岸、参加者/10人)

② 真鶴・貴船祭見学会(場所/真鶴港、参加者/11人)

③ ビーチコーミング(場所/大磯照ヶ崎海岸～北浜海岸、参加者/17人)

④ ビーチコーミング(場所/大磯照ヶ崎海岸～北浜海岸、参加者/29人)

(担当) 佐川、北水

#### <連続講座「東海道」>東海道宿駅制度400年記念巡回展関連事業

日 時 ①平成13年9月29日(土)、②10月14日(日)、③11月18日(日)、④12月2日(日)、  
⑤12月16日(日)

会 場 当館研修室、平塚市博物館講堂

参加者 延390人

(内容) 東海道宿駅制度400年記念巡回展関連事業の一環として、大磯町郷土資料館と平塚市博物館の共催による連続講座「東海道」を開催した。東海道の概説を含め、大磯宿、箱根宿、神奈川宿、戸塚宿、平塚宿などの神奈川県下に位置する宿場の具体的な歴史と実態に迫った。なお、会場は①②を当館、③④⑤を平塚市博物館とした。



①「東海道を通るさまざまな外交使節」(講師/大磯町史執筆委員 細井 守氏、参加者/84人)

②「東海道大磯宿一宿場の苦悩と再建への模索」(講師/東海大学校史編纂室 馬場弘臣氏、参加者/82人)

③「箱根八里(東坂)と街道施設」(講師/箱根町立郷土資料館 大和田公一氏、参加者/76人)

④「神奈川宿と戸塚宿」(講師/横浜市歴史博物館 斎藤 司氏、参加者/78人)

⑤「東海道と平塚宿」(講師/平塚市博物館 土井 浩氏、参加者/70人)

(担当) 佐川

#### ■刊行物

##### <図録、冊子>

・巡回展図録「二宮・大磯・平塚を結ぶ道—東海道—」 A4版40頁 500部(平成13年9月刊)

・資料館資料『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 絵はがき1』 A4版40頁 500部

(平成14年3月刊)

・年報—平成12年度—

A4版42頁 500部(平成14年3月刊)

・Report—大磯町郷土資料館だより—2

B4版4頁 800部(平成14年3月刊)

#### <チラシ>

- ・企画展チラシ「新収集資料展」 A4版 — 2,000部 (平成13年5月刊)
- ・企画展チラシ「相模湾のウミガメ」 A4版 — 2,000部 (平成13年7月刊)
- ・巡回展チラシ「二宮・大磯・平塚を結ぶ道—東海道—」 A4版 — 3,000部 (平成13年9月刊)
- ・企画展チラシ「漂着物展」 A4版 — 2,000部 (平成14年3月刊)

#### <その他>

- ・常設展リーフレット「くすりと呼ばれる植物たち」 A4版4頁—4,000部 (平成13年10月刊)
- ・企画展チラシ「鈴木茂一コレクション展」 A4版6頁コピー対応 (平成13年12月刊)
- ・企画展リーフレット「漂着物展」 A4版6頁 コピー対応 (平成14年3月刊)
- ・講座通信「民俗に親しむ会」 A4版1~4頁 コピー対応 (年間・随時)
- ・講座通信「草と木の調査」 A4版4~8頁 コピー対応 (年間・随時)
- ・講座通信「海の教室」 A4版6頁 コピー対応 (平成13年7月・10月刊)

### ■調査・研究・普及

#### <館内外の活動>

- ・博物館資料調査/年間/大磯町内外 (佐川、國見、北水)
- ・神奈川県博物館協会、役員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館他 (國見)
- ・東海道宿駅制度400年記念展実行委員会幹事会/4月19日、5月22日、6月20日、8月2日、10月12日、2月21日/神奈川県立歴史博物館 (北水)
- ・日本考古学協会総会出席/5月19日・20日/駒澤大学 (國見)
- ・相模民俗学会総会出席/6月3日/神奈川県立歴史博物館 (佐川)
- ・大磯幼稚園照ヶ崎海岸散策会講義 (雨天により園内講義) /6月6日/大磯幼稚園 (北水)
- ・あさひ石仏を訪ねる会講義/6月15日/当館 (佐川)
- ・第5回常民文化研究講座発表/6月23日/神奈川県立佐川大学 (佐川)
- ・駒澤大学博物館学講座見学実習講義/6月24日/当館 (國見)
- ・中郡小学校教育研究会社会科部研究会講義/8月7日/当館~堂後下横穴墓群 (國見)
- ・「山北の民俗を語る集い」発表/8月11日/山北町中央公民館 (佐川)
- ・大磯町生涯学習館「身近な自然とのふれあい教室」講義/9月8日・9日/生涯学習館 (北水)
- ・国府中学校2年野外学習講義/9月13日/足柄ふれあいの村 (北水)
- ・国府小学校総合学習講義/10月17日・20日、11月7日・21日、12月1日/国府小学校 (北水)
- ・山西小学校2年生活科講義/12月11日/山西小学校 (佐川)
- ・神奈川県文化財協会見学会案内/1月12日/図書館~町内 (佐川)
- ・大磯小学校3年社会科講義/2月14日/大磯小学校 (佐川)
- ・国府小学校3年社会科講義/2月15日/国府小学校 (佐川)

#### <施設・展示解説>

- ・国府小学校2年生活科/5月16日/114人
- ・秦野市長寿会/5月17日/27人
- ・東京家政学院大学4年博物館実習/6月1日/3人
- ・伊東市教育委員会/6月5日/4人
- ・勢多郡川村教育委員会事務局研究会社会教育部文化財分会/9月13日/8人
- ・南足柄市郷土資料館/9月22日/10人
- ・平塚市博物館ボランティア/11月15日/11人
- ・国府小学校3年社会科/2月19日/100人
- ・大磯町総合指導教室/3月5日/6人
- ・東京家政学院大学4年博物館実習/3月7日/3人
- ・鎌倉シティガイド協会/3月17日/2人

<執筆>

佐川和裕

2001. 4. 「大磯町西小磯の七夕」『民俗学論叢』第16号 相模民俗学会  
4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. /2001. 1. 2. 3 『民俗に親しむ会 Information』No.22~33  
大磯町郷土資料館講座通信  
7.10. 『海の教室通信』No.4~5 大磯町郷土資料館講座通信  
8. 「ミニコラム 家電リサイクル法の周辺」『民俗』177号 相模民俗学会  
2002. 1.2.3 『大磯町の伝統行事』1~3 『大磯町広報』 大磯町  
3. 「書評『綾瀬市史8(下) 別編民俗』」『綾瀬市史研究』第8号 綾瀬市  
3. 「山北の民俗を語る集い(発表要旨)」『足柄の文化』28号 山北町地方史研究会  
3. 「学校支援の試みー大磯町郷土資料館ー」『神奈川県博物館協会会報』第73号 神奈川県博物館協会  
3. 「守屋家掛幅と四季耕作図研究」『歴史と民俗』神奈川大学日本常民文化研究所論集18 平凡社  
3. 「平成12・13年度博物館実習「展示実習」(分担執筆)『東京家政学院生活文化博物館年報』第11号 東京家政学院生活文化博物館  
3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 絵はがきI』(共著) 大磯町郷土資料館  
3. 「資料紹介 大磯旅行記」『年報ー平成12年度ー』(共著) 大磯町郷土資料館

北木慶一

2001. 4.5.6.7.8.9.11.12./2002.2.3 『草と木の調査だより』準備号、第1号~第10・11号合併号  
大磯町郷土資料館講座通信

加藤廣美

2002. 3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 絵はがきI』(共著) 大磯町郷土資料館  
3. 「資料紹介 大磯旅行記」『年報ー平成12年度ー』(共著) 大磯町郷土資料館

■ 博物館実習

<実習生>

川邊 崇志(東海大学)、大神真由子(聖心女子大学)、田端孝志(駒沢大学)、斎藤麻美(駒沢大学)  
守屋慎太郎(東京農業大学)

<課程>

日程	内 容
10月3日(火)	ガイドンス・館内見学
10月23日(火)	講義・澤田美喜記念館見学
10月24日(水)	測量調査/民俗資料の受入
10月25日(木)	巡回展作業/民俗資料の見方と取り扱い
10月26日(金)	講座参加(草と木の調査)
10月27日(土)	講座参加(海の教室)/展示替実習(企画発表)
10月28日(日)	実技実習(梱包・映写機等)
10月30日(火)	展示替実習(構想・資料採集)
10月31日(水)	展示替実習(写真撮影・資料調査)
11月1日(木)	展示替実習(旧展示片付・原稿作成)
11月2日(金)	展示替実習(資料展示・原稿作成)
11月3日(土)	展示替実習(資料展示・記録)
11月9日(金)	補足作業/課題提出/総括

4 大学から5名の学生(実習生)を受け入れた。実習期間は、平成13年10月23日から11月3日の間(休館日を除く)、および10月3日と11月9日の計13日間である。

実習の課程は、実務実習を中心とした前半と、展示替実習を中心とした後半とに大別される。前半の実習では資料の調査や操作に関わる作業を中心に行ない、博物館資料の流れや日常の博物館業務に対する認知と理解を図っている。限られた期間内での実習においては、専門的知識や技術の習得を第一義にあげることは困難であるため、当館ではあくまで分野を越えた博物館全体の業務の流れを認識してもらうことを主眼としている。実習生に対して学芸員全体で対応する点や実習生の専攻分野を特定しない点はこのためであり、当館の実習における特徴のひとつともいえる。

実習後半では、前半の実習成果に基づき展示替実習を行なった。展示替実習は実習課程の中核および総仕上げとして位置付けている。これは、常設展示室の一角を利用して小企画展を行なうものであり、展示の構想から完成までの作業は実習生が主体となって進め、学芸員は監修・指導的立場として関わることになる。

今回の展示は、実習生各自の案を基に討議した結果、標題を『くすりと呼ばれる植物たち』と設定し、薬草として用いられる植物を取り上げた。展示に際しては、文献によって調査した薬草の種類・効能等をもとに館近隣において写真撮影・資料採集を行ない、パネル・腊葉標本を作成して展示を構成した。また、あわせてリーフレットを作製した。

(担当) 國見、北水、佐川



## ■博物館資料の収集と利用

### (寄贈資料)

(寄贈資料)				(敬称略)					
No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0401	H13. 4. 3	耐火煉瓦	2	渡邊大三 大磯町西小磯	0803	H13. 8. 16	オオナワ	1	石井 修 大磯町国府本郷
0402	H13. 4. 8	ハゴイタ	2	杉山レイ子 大磯町国府新宿	0804	H13. 8. 30	昆虫標本 他	66	木村純子 大磯町大磯
0403	H13. 4. 18	書籍	1	赤田喜一 大磯町国府本郷	0901	H13. 9. 20	シロマダラ 他	17	木村純子 大磯町大磯
0404	H13. 4. 19	オワン 他	一括	湯口正毅 大磯町寺坂	0903	H13. 9. 16	イス	1	田口 元 藤沢市藤沢
0501	H13. 5. 1	カメ 他	一括	西山敏夫 二宮町山西	1001	H13. 10. 5	市松人形	1	石井倫江 大磯町大磯
0502	H13. 5. 2	チャブダイ 他	一括	西山敏夫 二宮町山西	1003	H13. 10. 14	ランドセル	2	加藤廣美 大磯町国府本郷
0503	H13. 5. 2	庚中講資料	一括	柳田晋司 大磯町西小磯	1004	H13. 10. 17	カキ	1	小島節子 大磯町生沢
0504	H13. 5. 13	絵はがき	一括	高橋諄一 横浜市青葉区	1005	H13. 10. 20	雛人形	一式	中野直美 大磯町大磯
0505	H13. 5. 26	スライド 他	一括	藤田輝子 大磯町高麗	1006	H13. 10. 20	クルリ 他	一括	加藤友造 大磯町国府新宿
0601	H13. 6. 5	衣類 他	一括	西山敏夫 二宮町山西	1007	H13. 10. 24	ハカリ 他	12	加藤友造 大磯町国府新宿
0602	H13. 6. 9	絵はがき	一括	飯田善雄 大磯町大磯	1008	H13. 10. 31	蝶標本 他	36	木村純子 大磯町大磯
0603	H13. 6. 14	古新聞	1	清水弘子 大磯町石神台	1101	H13. 11. 1	イノシシ骨格標本	一括	大磯氣友会
0604	H13. 6. 19	モチツキキ	4	谷久保清彦 大磯町西小磯	1104	H13. 11. 22	衣服	4	松井静枝 大磯町生沢
0701	H13. 7. 3	アミキ	1組	滝山昭枝 平塚市桜ヶ丘	1201	H13. 12. 6	雛人形 他	5	木村純子 大磯町大磯
0705	H13. 7. 17	新聞 他	一括	鈴木喜八郎 茅ヶ崎市下町屋	0101	H14. 1. 22	マッチイレ	12	渡邊恵子 大磯町東町
0706	H13. 7. 24	空き瓶	1	加藤廣美 大磯町国府本郷	0103	H14. 1. 24	オカマ 他	2	今井 正 大磯町国府新宿
0802	H13. 8. 7	チョウの蛹脱殻	一括	木村純子 大磯町大磯	0201	H14. 2. 6	貝標本 他	一括	飯田福信 大磯町大磯

### (移管資料)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0506	H13. 5. 29	巻軸 他	一括	大磯町経済観光課	1102	H13. 11. 6	カメラ	1	大磯町美化センター
0702	H13. 7. 6	カメラ 他	3	大磯町美化センター	1103	H13. 11. 12	冊子	1	大磯町美化センター
0902	H13. 9. 20	地質調査土質標本	一括	大磯町健康福祉課	1202	H13. 11. 19	地質調査報告書	4	大磯町教育委員会 学校教育課

### (購入資料)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0703	H13. 7. 7	地形図	3	忠敬堂	0802	H13. 8. 8	お盆セット	一式	鈴木屋

### (採集資料)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
1002	H13. 6. 6	レンガ 他	3	大磯町大磯	0102	H14. 1. 24	赤煉瓦	1	大磯町大磯
1105	H13. 6. 27	土器	1	大磯町大磯					

## (資料の館外貸出)

資料名	点数	利用目的	期 間	申請者	資料名	点数	利用目的	期 間	申請者
図録	1	参考資料	H13. 4. 13 ～ 4. 20	個人	拍子木 他	7	文化祭	H13. 10. 2 ～ 11. 2	国府中学校
写真 他	6	町史編纂	H13. 4. 24 ～ 5. 25	大磯町立図書館	図録	2	調査	H13. 10. 3 ～ 10. 22	個人
須恵器台付壺 他	一括	図録掲載	H13. 4. 25 ～ 5. 9	平塚市博物館	地質調査報告書	1	参考資料	H13. 10. 3 ～ 10. 22	関中村組
マイワイ 他	5	チャリティー コンサート	H13. 5. 16 ～ 5. 31	個人	図録	2	調査	H13. 10. 23 ～ 11. 11	大磯町都市整備課
ビデオ	11	授業	H13. 5. 30 ～ H14. 3. 28	大磯中学校	写真	1	新聞掲載	H13. 11. 15 ～ 12. 4	神奈川電広社
写真 他	4	雑誌掲載	H13. 6. 10 ～ 10. 23	個人	図録	3	研究資料	H13. 12. 4 ～ 12. 16	個人
文書	18	町史編纂	H13. 7. 10 ～ 10. 2	大磯町立図書館	出土品	一括	町史編纂	H13. 12. 13 ～ H14. 3. 31	大磯町立図書館
須恵器台付壺 他	一括	展示	H13. 7. 18 ～ 9. 10	平塚市博物館	電気冷蔵庫	1	展示	H14. 1. 16 ～ 3. 27	相模原市立博物館
写真	1	歴史書掲載	H13. 7. 25 ～ 9. 1	柏書房㈱	スライド	2	新聞掲載	H14. 1. 16 ～ 1. 31	読売新聞
写真	1	テレビ放映	H13. 8. 4 ～ 8. 23	クリエイティブネク サス(株)	図録	3	撮影	H14. 1. 17 ～ 1. 25	関カノックス
パネル写真	一括	撮影	H13. 8. 11 ～ 9. 9	湘南なぎさ事務所	文書	37	町史編纂	H14. 1. 17 ～ 3. 29	大磯町立図書館
図録 他	6	閲覧	H13. 8. 30 ～ 9. 18	個人	ヒノシ 他	6	社会科授業	H14. 1. 17 ～ 1. 29	個人
写真	2	図録掲載	H13. 9. 5 ～ 9. 25	かながわ考古学財 団	写真	2	タウン紙掲載	H14. 1. 31 ～ 2. 15	関タウンニュース 社
衣類 他	38	公演会	H13. 9. 8 ～ 9. 12	個人	出土品	一括	町史編纂	H14. 1. 31 ～ 2. 28	大磯町立図書館
地質調査標本	4	理科学習	H13. 9. 18 ～ 10. 2	国府小学校	掛軸 他	5	白岩神社祭典	H14. 3. 2 ～ 3. 10	西小磯区

## (資料の特別利用)

資料名	点数	利用目的	期 間	申請者	資料名	点数	利用目的	期 間	申請者
絵はがき	7	撮影/放映	H13. 4. 4	TVKテレビ	資料館館内	—	撮影/資料	H13. 10. 23	個人
古写真	6	撮影/資料	H13. 4. 15	個人	資料館館内	—	撮影/資料	H13. 10. 23	個人
須恵器台付壺 他	一括	撮影/掲載	H13. 4. 25	平塚市博物館	資料館館内	—	撮影/資料	H13. 10. 30	個人
資料館館内	—	撮影/資料	H13. 5. 2	個人	資料館館内	—	撮影/資料	H13. 11. 4	個人
竹神輿	1	撮影/放映	H13. 6. 24	湘南ケーブルネット ワーク(株)	資料館館内	—	撮影/資料	H13. 11. 4	個人
資料館館内	—	撮影/掲載	H13. 6. 24	㈱M. P. C	資料館館内	—	撮影/資料	H13. 11. 4	個人
絵はがき	17	撮影/研究	H13. 7. 17	個人	写真 他	—	撮影/資料	H13. 11. 15	個人
四季耕作団	1	撮影/放映	H13. 7. 31	クリエイティブネク サス(株)	資料館館内	—	撮影/資料	H13. 11. 18	個人
資料館館内外	—	撮影/研究	H13. 8. 12	個人	絵はがき	2	撮影/掲載	H14. 1. 10	寒川町町史編さん 課
資料館館内	—	撮影/研究	H13. 8. 12	個人	絵はがき	24	撮影/掲載	H14. 1. 10	個人
灯火具 他	12	撮影/刊行	H13. 10. 9	個人	スライド	16	撮影/資料	H14. 1. 18	個人
大淀三千風資料	5	撮影/研究	H13. 10. 12	個人	竹神輿	1	撮影/掲載	H14. 1. 22	湘南新聞
資料館外観	—	撮影/刊行	H13. 10. 19	個人	絵はがき 他	3	撮影/掲載	H14. 2. 12	神奈川県自然環境 保全センター
資料館館内外	—	撮影/発表	H13. 10. 23	個人	松本順像	1	撮影/刊行	H14. 2. 22	関講談社
矢立 他	—	撮影/資料	H13. 10. 23	個人	松本順像 他	—	撮影/放映	H14. 3. 2	日本テレビ





山北町	山北町教育委員会	『足柄の文化 第28号』	2001/03
	神奈川県立丹沢湖ビジターセンター	『丹沢湖ビジターセンター活動報告 2000 vol.2』	2001/03
横浜市	(財)かながわ考古学財団	『かながわの遺跡展 2001 発掘されたかながわの顔』図録	2001/10
		『長柄・桜山第1・2号墳 測量調査・範囲確認調査報告書』	2001/03
		『公開セミナー 古代の大型建物跡 記録集』	1999/12
		『年報7 平成11年度』	2000/12
		『研究紀要6 かながわの考古学』	2001/03
		『「古都鎌倉」を取り巻く山積部の調査』	2001/03
		『三ヶ岡遺跡 II』	2001/07
		『年報8 平成12年度』	2001/10
		『かながわ考古学財団調査報告39 吉岡遺跡群VI』	1998/03
		『かながわ考古学財団調査報告41 宮ヶ瀬遺跡群 XV』	1998/03
		『かながわ考古学財団調査報告46 池子遺跡群 X』	1999/03
		『かながわ考古学財団調査報告46 池子遺跡群 X 木器集成図録』	1999/03
		『かながわ考古学財団調査報告47 吉岡遺跡群VII』	1999/03
		『かながわ考古学財団調査報告49 吉岡遺跡群IX』	1999/03
		『かながわ考古学財団調査報告51 宮ヶ瀬遺跡群 XIII』	2000/12
		『かながわ考古学財団調査報告100 一升枡遺跡所在やぐら群』	2000/08
		『かながわ考古学財団調査報告101 矢代遺跡』	2000/10
		『かながわ考古学財団調査報告102 神明久保遺跡』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告103 田中・万代遺跡』	2001/01
		『かながわ考古学財団調査報告104 原口遺跡II』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告105 草山遺跡』	2000/12
		『かながわ考古学財団調査報告106 名越遺跡内大谷戸やぐら群』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告107 蓋刈谷東丁目西地区やぐら群(2次)』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告108 下厩屋・下町並遺跡』	2001/02
		『かながわ考古学財団調査報告109 上土棚南遺跡 第4次調査』	2000/12
		『かながわ考古学財団調査報告110 杉久保遺谷遺跡』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告111 三ヶ岡遺跡I』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告112 一心院跡所在やぐら群』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告113 光融寺横やぐら・大江稲荷跡所在やぐら』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告114 宅間谷西第2やぐら群』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告115 覚園寺総門跡東やぐら群』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告116 長勝寺跡内やぐら群』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告117 山王堂東谷やぐら群』	2001/08
		『かながわ考古学財団調査報告118 三ヶ岡遺跡II』	2001/03
		『かながわ考古学財団調査報告121 飯綱上遺跡』	2001/09
		『かながわ考古学財団調査報告122 向原遺跡III(第5次調査)』	2001/12
		『かながわ考古学財団調査報告123 半原向原遺跡・半原屈中原遺跡』	2001/09
		『かながわ考古学財団調査報告124 上行寺墓遺跡(瀬戸21番地やぐら群)』	2001/12
		『かながわ考古学財団調査報告125 王禅寺通やぐら遺跡』	2001/12
(財)横浜ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター		『埋文よこはま 3』	2001/03
		『港北ニュータウン域内埋蔵文化財調査報告29 前高山遺跡 前高山西遺跡』	2001/03
		『埋蔵文化財センター 年報11 平成12年度版』	2001/11
馬の博物館		『馬の博物館だより』No.37~38	2001
		『研究紀要 第13号』	2000/12
		『浮世絵に描かれた人・馬・旅風俗 一東海道と木曾街道一』	2001/01
		『馬車の歴史 一古代&近代の馬車一』	2001/01
		特別展『馬追い街道』図録	2001/03
神奈川近代文学館		『神奈川近代文学館』第72~75号	2001-2002
		『神奈川近代文学館年報 2000年(平成12年)度』	2001/06
神奈川東海道ルネッサンス推進協議会		『歩いて 見て 調べてみよう! 神奈川の東海道 -自主研究に役立つ街道図鑑-』	2001/03
神奈川県博物館協会		『神奈川県博物館協会会報 第72号』	2001/03
神奈川県立歴史博物館		『神奈川県立博物館研究報告 一人文学科一 第27号』	2001/03
		『神奈川県立歴史博物館年報 平成12年度』	2001/05
		特別展『ZENGA 帰ってきた禅画』図録	2000
		『神奈川県立歴史博物館だより』156~158号	2001
神奈川県立公文書館		『神奈川県 公文書館だより 第7号』	2001/03
		『平成12年度 神奈川県立公文書館 年報』	2001/07
		『神奈川県立公文書館紀要 第3号』	2001/03
神奈川地域史研究会		『会報』第59~62号	2001-2002
		『神奈川地域紙研究 第19号』	2001/03
グリーンタフ事務局		『自然観察』234~247号	2001-2002
寺家ふるさと村「四季の家」		『はなあふ通信』3~4, 5, 8, 11, 2月号	2001-2002
玉川文化財研究所		『神奈川県厚木市 愛甲堂山遺跡発掘調査報告書』	2001/02

		『神奈川県大和市 月見野遺跡群、上野遺跡第12地点 発掘調査報告書』	2001/03
		『神奈川県平塚市 万田遺跡第6地点 発掘調査報告書』	2001/02
		『神奈川県平塚市 新町遺跡第5地点 発掘調査報告書』	2000/12
		『神奈川県厚木市 長谷曾野遺跡発掘調査報告書』	2000/08
		『神奈川県伊勢原市 原之宿遺跡発掘調査報告書』	2000/09
		『神奈川県小田原市 御相長屋遺跡 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ地点』	2001/03
		『倉見才戸遺跡 第4次調査 発掘調査報告書』	2001/03
		『東京都板橋区 前野田向かい遺跡 第3地点 発掘調査報告書』	2001/06
		『東京都板橋区 舟渡遺跡 第4地点 発掘調査報告書』	2001/08
		『宮代コレクション 植物標本目録』	2001/03
		『平成11年度 文化財年報 (埋蔵文化財 その18)』	2001/03
		『ゴロスケ報々』 第76～80, 82号	2001-2002
		『2001 横浜自然観察の森 事業概要書 第13号』	2001/08
		『2000年度 横浜自然観察の森 調査報告6』	2001/06
		『横浜市動物園年報 (平成12年度)』	2001/09
		企画展『横浜の古墳と副葬品』図録	2001/01
		特別展『発見! 巨大集落 一大熊伸町遺跡と縄文中期の世界-』図録	2000/10
		『横浜市歴史博物館 No.11』	2000/12
		『横浜市歴史博物館年報 平成11年度版』	2001/03
		『横浜市歴史博物館 紀要 vol.4』	2000/03
		『横浜市歴史博物館資料目録 第8集』	2000/03
		『横浜市歴史博物館資料目録 第9集』	2001/03
		企画展『呪いと占い』図録	2001/04
		『museum news』 vol. 58～61	2001
		『下原遺跡 II』	2001/03
		『川崎市市民ミュージアム 紀要 第13集』	2001/03
		『川崎市民俗文化財調査報告書 川崎の絵馬』	2001/03
		『鎌倉の埋蔵文化財 4』	2001/03
		『神奈川県鎌倉市 切通周辺詳細分布調査報告書』	2001/01
		『鎌倉市二階堂 国指定史跡 永福寺跡 遺構編-』	2001/03
		『神奈川県鎌倉市 鎌倉大仏周辺発掘調査報告書』	2001/03
		『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書17 平成12年度発掘調査報告(第1分冊)』	2001/03
		『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書17 平成12年度発掘調査報告(第2分冊)』	2001/03
		『鶴岡 第87号』	2001
		企画展『鎌倉の禅林と作家たち 一建長寺・円覚寺の文学風土-』図録	2001/10
		『潮騒だより No.12』	2001
		『相模湾レッドデータ - 貝類 -』	2001/03
		『平成9年度 三浦市文化財展 諸磯遺跡への招待』図録	1997/11
		『平成11年度 三浦市文化財展 眠りからさめた古代のみうら』図録	2001
		『城ヶ島の自然と文化 一海ととも生きる-』	2000/11
		『吉岡遺跡群』	1996/08
		『三浦市埋蔵文化財調査報告書 第5集 赤坂遺跡』	2001/03
		『三浦市埋蔵文化財調査報告書 第6集 赤坂遺跡』	2001/03
		『神奈川県三浦市 屋志倉遺跡発掘調査報告書』	1997/10
		『平成9年度 三浦市文化財展 貝塚から見た縄文時代の漁撈活動記録集』	1999/03
		『新指定重要文化財・重要民俗文化財調査報告 長井古地遺跡群内周P地区発掘調査報告』	2001/03
		『埋蔵文化財発掘調査概報集IX 一平成11(1999)年度分-』	2001/03
		『横須賀市博物館研究報告 (自然科学) 第48号 2001年3月』	2001/03
		『横須賀市 博物館報』	2001/03
		『考古資料図録 XVI』	2001/03
		『横須賀市博物館研究報告 (人文科学) 第45号 2000年12月』	2001/03
		『研究紀要 第2号』	2001/03
		『愛川町文化財調査報告書 第22集 愛川町の近代遺産』	2001/03
		収蔵資料展『職人の道具』図録	2000/06
		収蔵資料展『鋸と刀』図録	2001/01
		収蔵資料展『あつぎの野鳥』図録	2001/03
		『厚木市博物館資料集 No.11 厚木市サガミ川の動植物』	1998/03
		『厚木市文化財報告書 第四〇集 厚木の近江商人』	2000/03
		『星野日誌 大正八年～大正十四年(農業日誌)』	1998/03
		『星野日誌 大正十五年～昭和五年、明治十八年(追加分)(農業日誌)』	1998/12
		『東町二番』	1996/03
		『今昔東町』	1997/03
		『自由民権文獻目録』	2001/03
		『厚木市文化財報告書第41集 厚木の道祖神』	2001/10
		『市史だより 24』	2001/03
<b>綾瀬市</b>	綾瀬市役所秘書課市史編集係		

		『綾瀬市史4 資料編 現代』	2000/03
		『地域資料目録 1999年版』	2001/03
		『綾瀬市史8(上) 別編 自然』	2001/03
		『綾瀬市史8(下) 別編 民俗』	2001/03
海老名市	海老名市郷土資料館「海老名市温故館	『温故館だより』	2001/03
相模原市	相模原市教育委員会	『平成13年度 相模原市文化財年報』	2001/08
		『相模原市埋蔵文化財調査報告25 埋蔵文化財発掘調査概報集』	2001/03
		『相模原市文化財調査報告書 幕末の和洋折衷三階建て住宅』	2001/03
	相模原市立博物館	『相模原市立博物館 NEWS』vol.22~25	2001-2002
		特別展『花を描き、花を知る ~植物画の魅力~』図録	2000/07
		『相模原市立博物館研究報告 第10集 2001』	2001/03
		『相模原市立博物館資料目録 桐生亮コレクション標本目録』	2001/03
座間市	座間市教育委員会	『座間むかしむかし 第二十三集』	2001/03
		『座間のむかし話絵本 観音さまと大蛇』	2001/02
城山町	城山町教育委員会	『城山町の地名』	2001/03
大和市	大和市教育委員会	企画展『矢倉沢往還と下鶴間宿』図録	2001/11
		『やまと 歴史マップ2001』	2001/03
		『大和市文化財調査報告書 第77集 大和市の民具3 -農具-』	2001/03
		『大和市文化財調査報告書 第79集 下鶴間の長谷川家資料総合調査報告書 目録編』	2001/03
		『神奈川県大和市 大和深見城跡 発掘調査報告書』	2001/03
		『大和市文化財調査報告書 第78集 下鶴間的小倉家資料調査報告書1-一文書類・守札-』	—
茨城県	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	特別展『弥生から古墳へ ~時代の終わりと始まり~』図録	2001/03
		『土浦市 上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第6号 1999(平成11年度)』	2000/11
		『茨城県土浦市 権現前遺跡』	2000/03
		『いさろ遺跡』	2001/03
		『下郷遺跡・下郷古墳遺跡群』	2001/03
栃木県	小山市立博物館	企画展『弥生時代の祭祀と信仰』図録	2001/04
		『博物館だより』33	2001
群馬県	北橋村教育委員会	『北橋村埋蔵文化財調査報告書第30集 道訓前遺跡』	2001/02
		『銭神遺跡 箱田遺跡群補遺』	2001/03
		『平成12年度 北橋村文化財年報2』	2001/03
		『北橋村埋蔵文化財調査報告書第32集 田ノ保遺跡Ⅲ』	2001/03
		『平成12年度 北橋村文化財年報2』	2001/03
		『北橋村埋蔵文化財調査報告書第33集 北橋村内遺跡Ⅳ』	2001/03
	群馬県勢多郡社会教育文化財分会	企画展『赤城山麓の縄文あけぼの -縄文時代前期を中心として-』展示解説書	2000/10
		企画展『赤城山麓の弥生びと -博遺跡発見70年-』	—
		『赤城村文化財ガイド』	1999/03
		『赤城村歴史資料館紀要 第3集』	2001/03
		『新里村内電源開発只見幹線 鉄塔建設関連遺跡発掘調査概要』	1998/03
		『国指定重要文化財 山上多重塔建立1200年記念 歴史講演会』	2001/07
		『第8回 岩手フォーラム/シンポジウム 複光形土器文化期の集落と武井遺跡 予稿集』	2000/10
		『文化財ニュース』No.1	1999
埼玉県	さいたま 川の博物館	『かわはく』No.10, 11	2001
	埼玉県立博物館	『~さかなの秘密 道具の科学~ 初心者のための なっとく漢流釣り』	2001/07
		特別展『めざせ 日本の近代化』図録	2002/02
		『THE AMUSEUM』107, 109号	2001-2002
		『紀要 26』	2001/03
	鶴ヶ島市教育委員会	『仲道柴山遺跡 5・6次調査 発掘調査報告書』	2001/03
		『羽折遺跡 1次調査 発掘調査報告書』	2001/03
	川越市立博物館	ミニ展示『むかしの勉強 むかしの遊び』図録	—
	細山郷土資料館	『ほそ山』21号	2001
千葉県	我孫子市鳥の博物館	『我孫子市鳥の博物館 調査研究報告』	2001/03
		『我孫子市と鳥の博物館館報』	2001/03
	伊能忠敬記念館	特別展『伊能忠敬と北海道』図録	2000/10
		『伊能忠敬記念館 年報 第2号』	2001/03
	国立歴史民俗博物館	『縄文文化の扉を開く ~三内丸山遺跡から縄文列島へ~』図録	2001/03
		『位階万華鏡 あの世・妖怪・古い』図録	2001/07
		くらしの植物苑 特別企画『冬の華 サザンカ』図録	2001/11
	市立市川自然博物館	『市立市川自然博物館だより』第67~72号	2000-2001
		『平成11年度 市立市川自然博物館』	2001/03
		『市立市川自然博物館 研究紀要 市川の自然の記録(第3号)』	2001/12
		特別展『恐竜』図録	2000
	袖ヶ浦市郷土博物館	『ニュージウム発見伝』No.66~68	2000-2001
	館山市立博物館	『研究報告 人文科学 第7巻 第1号』	2001/03
	千葉県立中央博物館	『貝塚博物館紀要 第28号』	2001/03
	千葉市立加曾利貝塚博物館		2001/03



		『府中市内家分け古文書目録4 八幡宿 田中家文書目録』	2001/03
		『年報 第15号(平成12年度)』	2002/02
		『府中市郷土の森 年報 第14号』	2001/02
		『平成11年度 福生市郷土資料室年報 20』	2001/03
		特別展『多摩の微笑伝 一木白道—』図録	2001/09
		『Museum Study 12号』	2001/03
		『Museologist 16号』	2001/03
<b>山梨県</b>	環境省自然環境局生物多様性センター	『生物多様性センター ニュースレター』第2~4号	2001-2002
		『伝説的多様性とは』	2001/06
	釈迦堂遺跡博物館	『釈迦堂通信 しゃかどう 7』	2001
	八田村教育委員会	『八田村文化財調査報告書 第2集 野牛島・大塚遺跡』	2000/03
<b>長野県</b>	(解)藤村記念館	『藤村記念館だより』第97, 98, 100号	2001-2002
	茅野市教育委員会	『家下遺跡 II』	1996/03
		『山之神沢遺跡』	1997/03
		『神ノ木遺跡』	1997/03
		『久保御堂遺跡』	1997/03
		『特別史跡 尖石遺跡 [平成8年度記念物保存事業に係る試掘調査報告書]』	1997/03
		『鹿尾根遺跡・鹿垣遺跡』	1998/03
		『威力不動尊東遺跡』	1998/03
		『八幡坂遺跡』	1998/03
		『牛ノ兎遺跡』	1999/03
		『特別史跡 尖石遺跡 [平成10年度記念物保存事業に係る試掘調査報告書]』	1999/03
		『向林遺跡』	1999/03
		『師岡平遺跡』	1999/03
		『貫地遺跡』	2000/03
		『トクアミ遺跡』	2000/03
		『林の峰遺跡』	2000/03
	小諸教育委員会	『小諸城下町図』	2001
	諏訪市博物館	企画展『わたしを雛祭りにつれてって III』図録	2001/02
		企画展『諏訪市指定文化財展 ~博物館所蔵を中心にして~』図録	—
	茅野市ハッ岳総合博物館	特別企画展『歌人藤原志都児 一その生涯と交友—』	2001/10
		『茅野市の博物館・文化財講座だより ハッ岳通信』No.19	2001
<b>静岡県</b>	静岡県立美術館	『アマリス』No.61, 63, 64	2001-2002
	沼津市歴史民俗資料館	『資料館だより』153~156号	2000-2001
		『沼津市博物館紀要 24』	2000/03
		『考古資料(3) 大正2年の火災で焼失したセトモノ屋の店先』	—
		『沼津市歴史民俗資料館資料集18 古文書(9) 江梨区有文書目録(3)』	2001/03
		『沼津市博物館紀要 25』	2001/03
	浜松市博物館	『浜松市博物館だより』72~75号	2001
		『浜松市博物館情報』第103~114号	2000-2001
		『浜松市博物館報 第13号』	2000/12
		『浜松市博物館資料集10 須臾器と陶器』	2001/02
		『浜松市博物館報』	2001/09
	伊東市教育委員会	『伊東市内遺跡 出土資料目録』	2001/03
	藤枝市教育委員会	『藤枝市文化財年報 平成11年度』	2001/03
	三島市郷土資料館	『三島町 ~いにしへの宿場のにぎわいを求めて~』図録	2001/03
	焼津市歴史民俗資料館	『焼津市歴史民俗資料館 年報14』	2001/01
		『焼津市歴史民俗資料館 年報15』	2001/11
<b>愛知県</b>	安城市歴史博物館	企画展『旅のあこがれ 浮世経—東海道』図録	2001/04
		特別展『京都誓願寺と三河の念仏宗』図録	2001/10
		企画展『東海の風 桜井の風 一風あげは お正月だけのもの?—』図録	2001/12
		『博物館ニュース No.43』	2002/01
	豊橋市二川宿本陣資料館	企画展『道中記にみる吉田・二川の名所』図録	2000/07
		『たべあきき東海道』図録	2000/07
		『ワークシート No.4 二川宿本陣』	—
	豊橋市美術博物館	企画展『東海道五十三次宿場展IX ~二川・吉田~』図録	2000/02
		『歴史の道 東海道展』	2001/04
		『風伯』36~39号	2001-2002
	豊橋市自然史博物館	『豊橋市自然史博物館年報 第13号 平成12年度』	2001/06
<b>三重県</b>	亀山市歴史博物館	企画展『豊臣秀吉と亀山城主岡本下野守宗憲』図録	—
		企画展『和紙でできたもの 和紙を使ったもの』図録	2001/07
		企画展『東海道宿場・伝馬制度四〇〇周年記念 亀山領内の東海道絵図』図録	2001/10
		企画展『古美術からみた亀山』	2001/04
		『平成12年度 亀山市歴史博物館年報 第7号』	2001/10
		『亀山市歴史博物館歴史資料集 第六集 亀山領主石川家中加藤秀繁日記四』	2001/03

		『亀山市歴史博物館歴史資料叢書 第七集 石川家中殿方頭取 今井家文書資料集』	2001/03
		『亀山市歴史博物館歴史資料叢書 第八集 亀山城主石川家譜「難破録」その1』	2001/03
		『亀山市歴史博物館歴史資料叢書 第九集 明和五年亀山領内八十三ヶ村騒動記録集』	2001/03
		『藤原岳自然科学館館報 藤原岳 第23巻 2000年度号』	2001/06
滋賀県	藤原岳自然科学館	『大津歴博だより』 No.42~45	2001-2002
	大津市歴史博物館	『うみっこ』 第10号	2001
	滋賀県立琵琶湖博物館	『うみんど(湖人)』 第20号	2001
		『琵琶湖博物館調査報告 15号』	2001/04
		『琵琶湖博物館年報 5号 平成12年度』	2001/07
京都府	舞鶴市立赤れんが博物館	『舞鶴赤れんがレポート』 第8号	2001
		『赤れんが博物館だより』 No.28~31	—
大阪府	槻京都科学	『Museum Works』 vol. 8~10	2001-2002
	大阪市立自然史博物館	『平成12年度事業報告』	2001/03
	国立民族学博物館	企画展 『大正昭和くらしの博物誌』図録	2001/03
		『なにがわかるか 社寺境内園』図録	2001/10
	富田林市教育委員会	『富田林市埋蔵文化財調査報告32 平成12年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書』	2001/03
兵庫県	神戸市立博物館	『神戸市立博物館だより』 No.72、74	2001
愛媛県	愛媛県総合科学博物館	『博物館だより No.25』	2001/03
	愛媛県歴史文化博物館	テーマ展 『出土銭貨を探る』図録	—
		『歴博だより』 25~27	2001
		『研究紀要 第6号』	2001/03
		『愛媛県歴史文化博物館資料目録 第3集 近代広告資料(引札)』	2001/03
		『年報 平成12年度』	2001/06
鳥取県	出雲市役所芸術文化振興課	『出雲市民俗資料所蔵目録 上巻 (衣・食・住)』	2001/03
熊本県	熊本県立装飾古墳館	企画展 『近畿地方の装飾古墳』図録	2000/10
北海道	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構	『第4回 アイヌ弁論大会報告書 イタカン ロー』	2001/03
	(財)アイヌ民族博物館	『アイヌ民族博物館だより』 No.45~46	2000
		『アイヌ民族博物館研究報告 第7号』	2001/06
		『アイヌ伝承記録5 虎尾ハルの伝承(CD付き) 鳥』	2001/02
	(財)北海道開拓の村	『北海道文化成立にかかわる母系文化の継承と変容(IV)』	2001/03
	『2001 要覧』	2001/05	
岩手県	前沢町立牛の博物館	『牛の博物館』 第16号	2001/03
		『トンコンナン修復支援活動の記録』	2001/08
		企画展 『クローン 一性と生命を考える—』	—

## 文化財保護

### ■文化財専門委員会

#### <委員の構成>

- ・委員長 高橋秀男（植物）／平成13年7月1日～
- ・副委員長 稲葉和也（建築）／平成13年7月1日～
- ・委員 三浦勝男（歴史）／平成13年7月1日～  
薄井和男（彫刻）／平成13年7月1日～  
小川直之（民俗）／平成13年7月1日～  
田尾誠敏（考古）／平成13年7月1日～

#### <委員会の開催>

- ・第1回／平成13年7月2日
  - ・第2回／平成13年11月5日
  - ・第3回／平成14年2月28日
- ・委嘱状の交付、平成13年度事業の概要について
- ・平成13年度事業の状況について
- ・平成13年度事業の報告について、平成14年度事業の概要について、町指定文化財の解除について、高麗山植生植物調査報告について、社寺建築調査報告について

### ■文化財保護

#### <文化財巡回調査>

町内所在の国・県指定の文化財等の現状と管理状況を把握するため、現地を巡回し実態を調査した。調査対象は以下の通りである。

- ・史跡／釜口古墳、たれこ谷戸西横穴群、庄ヶ久保横穴群、楊谷寺谷戸横穴群、馬場台遺跡
- ・彫刻／木造薬師如来坐像、木造伝了源坐像
- ・天然記念物／大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地
- ・無形民俗文化財／大磯の左義長

#### <文化財の修繕>

たれこ谷戸西横穴案内板を修理設置した。

#### <天然記念物の現状変更>

大磯高麗山の自然林についての現状変更を行った。

#### <文化財の調査>

以下についての調査を行った。

- ・社寺建築態勢調査
- ・高麗山植生、植物調査
- ・指定文化財写真撮影（36件）

#### <町指定有形文化財の保護>

町指定有形文化財18件について、町指定有形文化財管理奨励交付金を交付した。

#### <無形文化財の保護>

無形文化財について民俗資料保存団体交付金を交付した。交付対象は以下6件であった。

- ・高麗の山神輿（高麗山神輿保存会）
- ・大磯御船祭（大磯御船祭保存会）
- ・大磯の左義長（大磯町左義長保存会）
- ・国府祭（相模国府祭保存会）
- ・小磯の七夕（西小磯七夕保存会）
- ・白岩神社の歩射（白岩神社歩射保存会）

#### <文化財めぐり>

日 時 平成 14 年 1 月 12 日 (土)

参加者 55 人

(内 容) 文化財に対する理解と保護・啓発のために文化財めぐりを行った。本年度は、国指定無形民俗文化財の左義長行事の見学会を設定し、レクチャーおよび現地(道切り、七所参り)見学を行った。なお、神奈川県文化財協会見学会を兼ねて実施した。



#### <文化財防火デー>

日 時 平成 14 年 1 月 25 日 (金)

対 象 楊谷寺、妙輪寺、正泉寺

(内 容) 町内所在の文化財保有施設について消防署の協力のもと防火設備点検を行った。

#### <文化財調査報告書の刊行>

大磯町文化財調査報告書第 45 集『高来神社蔵木造神像群』を刊行した。

#### <会議>

文化財保護・活用に関する事業や埋蔵文化財に関する事業等の啓発・普及を進めるための情報交換および研究協議を行った。

- ・中地区文化財保護担当者会議
- ・神奈川県市町村埋蔵文化財保護行政連絡協議会
- ・県・市町村埋蔵文化財検討会議

### ■埋蔵文化財

#### <出土品整理>

堂後下横穴群の発掘調査によって出土した遺物の整理を行った。

#### <文化財保存処理委託>

坂田山南横穴群から出土した金属製品の保存処理を委託した。

#### <遺跡地区の整備>

埋蔵文化財包蔵地の変更増補を行った。

#### <史跡整備>

県指定史跡釜口古墳の下草刈りを行った。

#### <事前相談>

開発等に伴い、埋蔵文化財にかかわる事前相談に対応した。相談件数は 20 件(個人住宅 6 件、住宅分譲・宅地造成 8、共同住宅建設 5、公共事業 1)で、このうち立会調査を実施したものが 3 件、試掘確認調査を実施したものが 9 件、発掘調査を実施したものが 1 件であった。





遺跡の名称	堂後下横穴墓群
遺跡の名称種類	横穴墓
調査期間	平成13年5月7日～8月28日
所在地	大磯町国府本郷2127-1 他
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	鈴木一男、國見 徹
調査面積	179㎡
調査の原因	運動公園建設
発見遺構	横穴墓9基
発見遺物	須恵器、陶器、磁器、鉄製品、玉類
遺跡の時期	古墳時代
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	No.120遺跡(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成13年5月28日・29日
所在地	大磯町寺坂668-1
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	鈴木一男
調査面積	8.25㎡
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	土師器、陶磁器
遺跡の時期	
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	祇園塚遺跡M地点(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成13年7月16日・17日
所在地	大磯町国府本郷886
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	鈴木一男
調査面積	4.8㎡
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	土師器、須恵器
遺跡の時期	
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	南飯宿遺跡V地点(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成13年10月9日～12日
所在地	大磯町国府本郷21-2
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	鈴木一男、國見 徹
調査面積	7㎡
調査の原因	宅地造成
発見遺構	土坑4基
発見遺物	弥生土器、土師器、須恵器、陶器
遺跡の時期	弥生～古代
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	祇園塚遺跡(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成13年12月5日
所在地	大磯町国府新宿491-8
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	鈴木一男、國見 徹
調査面積	4㎡
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	土師器
遺跡の時期	
遺跡の保管	大磯町教育委員会

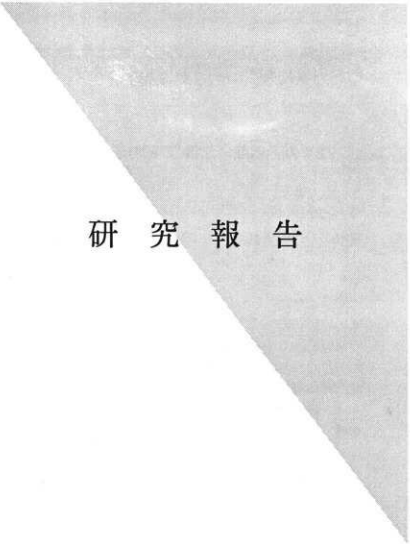
遺跡の名称	祇園塚遺跡N地点(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成13年12月10日～12日
所在地	大磯町国府本郷887
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	5.3㎡
調査の原因	宅地造成
発見遺構	竪穴住居址1軒
発見遺物	縄文土器、土師器、須恵器、陶器
遺跡の時期	古墳時代～古代
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	祇園塚遺跡O地点(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成13年12月14日～17日
所在地	大磯町国府本郷894
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	8.8㎡
調査の原因	宅地造成
発見遺構	溝2条、土坑1基
発見遺物	土師器、須恵器、陶器、古銭
遺跡の時期	古代～中世
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	馬場台遺跡40地点(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成13年12月20日～28日
所在地	大磯町国府本郷1077
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	鈴木一男、國見 徹
調査面積	36.3㎡
調査の原因	住宅造成
発見遺構	住居址2軒、土坑7基
発見遺物	土師器、須恵器、陶器、動物遺体
遺跡の時期	古代～近代
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	南日吉遺跡V地点(試掘)
遺跡の名称種類	遺跡散布地
調査期間	平成14年2月13日～15日
所在地	大磯町国府新宿
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	12㎡
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	土師器、陶器、磁器
遺跡の時期	
遺跡の保管	大磯町教育委員会

遺跡の名称	No.131遺跡隣接地
遺跡の名称種類	
調査期間	平成14年3月12日
所在地	大磯町西小磯253-1 他
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	鈴木一男、國見 徹
調査面積	6㎡
調査の原因	
発見遺構	なし
発見遺物	陶器、磁器、煉瓦
遺跡の時期	近代
遺跡の保管	大磯町教育委員会



研 究 報 告

# ウミガメに関する活動の記録

\*北水 慶一

## I. ウミガメ漂着の記録 (1994年～2001年)

### 1. はじめに

かつて相模湾沿岸は、アカウミガメの産卵が比較的良好に確認される場所であったと聞く。大磯町においても1960年代から1980年代において確認したという事例が聞かれる。町内における産卵の記録は1990年6月13日(当館記録)が最後であり、以降、話としてウミガメが上陸していた等の情報はあるものの卵を確認したケースは無い。しかしながら、当館においてもここ数年の間に5度、死体漂着を確認していることからアカウミガメは大磯町近海を回遊しているものと思われる。本報告では、1994年から2001年までの当館でのウミガメの漂着記録を紹介する。

### 2. 記録

本記録は、町民の方から大磯町生活環境課(現環境防災課)に通報があり、当館で記録、撮影をおこなったものである。ウミガメの同定は背甲の形状及び背甲鱗板の配列状態で確認した。1994年から2001年の確認漂着したウミガメはすべてアカウミガメであった。

#### (1) 1994年6月21日確認

大磯町西小磯海岸小磯幼稚園付近に漂着。腹部が上部となっており、直甲長、直甲幅は未計測。同日及び翌22日に記録撮影をおこない、郷土資料館職員が埋藏した。



図1. 1994年6月21日に確認した個体

(\*当館学芸員)

#### (2) 1994年8月26日確認

大磯町東町海岸に漂着。同日、直甲長及び直甲幅を計測し、記録撮影をおこなった。直甲長は87cmで直甲幅は56cmであった。



図2. 1994年8月26日に確認した個体

#### (3) 2001年5月22日確認

大磯町国府本郷海岸に漂着。同日、直甲長及び直甲幅を計測し、記録撮影をおこなった。直甲長は74cmで直甲幅は60cmであった。



図3. 2001年5月22日に確認した個体

#### (4) 2001年7月18日確認

大磯町西小磯海岸に漂着。同日、直甲長及び直甲幅を計測し、記録撮影をおこなった。直甲長は71cmで直甲幅は62cmであった。



図4. 2001年7月18日に確認した個体

(5) 2001年7月18日確認

大磯町西小磯海岸に漂着。同日、直甲長及び直甲幅を計測し、記録撮影をおこなった。直甲長は74cmで直甲幅は59cmであった。



図5. 2001年7月18日に確認した個体

まとめにかえて

当館で確認した5件の漂着記録を紹介したが、1994年から2001年の間では、他に1996年8月20日、大磯町国府本郷不動川河口漂着の記録(かねがわ海岸美化財団記録;丸山ほか,1999)がある。ここ8年の間には合計6件の事例があり、多くは西小磯から国府本郷の海岸で確認されている(図6参照)。確認した個体は直甲長が71cmから87cmであり、成長段階としては産卵可能な成体で比較的若い個体が多い。

1994年には2体確認できたが、1995年から2000年の間では、1体しか確認されておらず、町内においてアカウミガメの漂着は近年、極めて稀なことであると思われた。しかしながら、2001年には3体の漂着を確認することができた。一時的なものであるのか、今後もその状況が継続するものであるかは、継続的に観察していくことが必要であると思われる。今後の状況については、追って報告をおこなう。

引用・参考文献

- 丸山一子・中村一恵(1999):神奈川県におけるアカウミガメの記録,神奈川県自然誌資料,(20),33-38.神奈川県立生命の星・地球博物館。  
 内田至(1982):海ガメ学入門(1),現生海ガメ類の形態と分類,海洋と生物,4(5):1-7.

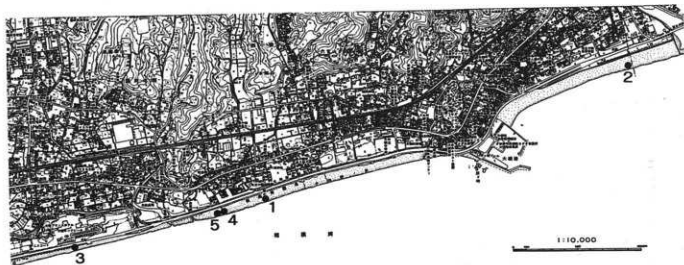


図6. 大磯町におけるウミガメの漂着の確認地点(大磯町発行10,000分の1地形図「大磯全図」を使用)

1. 1994年6月21日漂着 2. 1994年8月26日漂着 3. 2001年5月22日漂着  
 4. 2001年7月18日漂着(直甲長71cmの個体) 5. 2001年7月18日漂着(直甲長74cmの個体)

## II. 1993年漂着のアカウミガメの骨回収の記録

### 1. はじめに

当館では、現在2体のアカウミガメの全身骨格を所蔵している。1体は1988年7月6日に大磯町国府本郷大磯ロングビーチ付近海岸に漂着したものであり、もう1体は1993年6月15日に大磯町西小磯不動川河口付近に漂着したものである。大磯町環境防災課よりウミガメ漂着の連絡を受け、記録を取り、状況により骨採取のため砂浜にウミガメを埋めているが、先述の1988年漂着のアカウミガメの骨格標本は、漂着後すぐに剥製業者に骨格標本の作成を委託しており、実際に砂中から回収したことはなかった。ここでは、1993年漂着のアカウミガメの骨を回収した際の記録を紹介する。

### 2. アカウミガメの漂着と埋蔵

アカウミガメ死体埋蔵時の状況は当時の町史編さん係記録を参考にした。

同個体は1993年6月15日、大磯町西小磯不動川河口に漂着し、甲長87cm、甲幅66cm(丸山ほか, 1999)。大磯町美化センター職員と当時、大磯町史執筆委員であった丸山一子氏立会いのもとで海岸清掃業者が埋蔵した。ウミガメは骨が分散せず、容易に回収できるよう全体を魚網で包んだ。埋蔵した位置が判断できるようにパワーショベルを用い、西湘バイパス沿いのテトラポット付近に移動。1m20cm程度の深さの穴を掘り、埋蔵したと記録されている。



図1. 骨回収の作業の様子

### 3. 回収した骨と卵殻

1996年9月8日、丸山一子氏立会いのもと、博物館実習生とともに作業を進めた。深さ1m20cm程度の所に埋蔵したとのことであったが、除砂作業は、困難を期し、深さ1m50cm程の所でようやく見つけ出すことができた。埋めてから約3年3ヵ月が経過しており、すでに肉片は見られなかった。骨のほか表皮の一部と卵殻105個を回収した(図2、図3)。回収時の骨の状況は、腐敗が進行しすぎて、極めてもろい状態であった。卵殻は堆積する砂の重みからつぶれた状態にあり、所々開いている穴から串を通し、膨らますことで球形となり、卵殻と確認することができた。

### 4. 骨のクリーニング

回収後、砂を落とし乾燥させ、館内で保管していた。2000年9月に骨に含まれる塩分と脂の除去のため剥製業者にクリーニングを委託した。剥製業者の話では、骨組織の腐敗が進みすぎており、保存するうえで骨の強度が非常に弱くなっているとのことであった。卵殻については、水洗後、乾燥させるのみとした。クリーニング後、アカウミガメ全身骨格の構成骨が把握できたが、前足、後足の一部が欠損していることが分かった。

### 5. まとめ

2001年にアカウミガメの漂着死体が3体確認されたが、今後も町内海岸においてウミガメの漂着があるものと思われる。漂着死体から得られる情報は多く、漂着したウミガメの内容物を調べることでウミガメの食性含めた生態を究明する材料となる。また本件のように漂着死体の骨を回収することで展示等の資料館資料として活用されていくことになる。継続的かつ綿密にウミガメの漂着を記録していくことでウミガメの生態はもちろんのこと、海域を含めた地域の環境を知ることにつながると思われる。

最後になったが、数々の情報とご助言をいただいた丸山一子氏に感謝申し上げます。

引用・参考文献

丸山一子・中村一恵(1999)：神奈川県におけるアカウミガメの記録，神奈川県自然誌資料，(20)，33-38，神奈川県立生命の星・地球博物館。

作業協力者 [平成8年度博物館実習生] (敬称略)

大木佐知子、櫻田優子、桑島啓子、瀬木邦夫、西田貴世美、松本美樹、宮代将男、安井千栄子

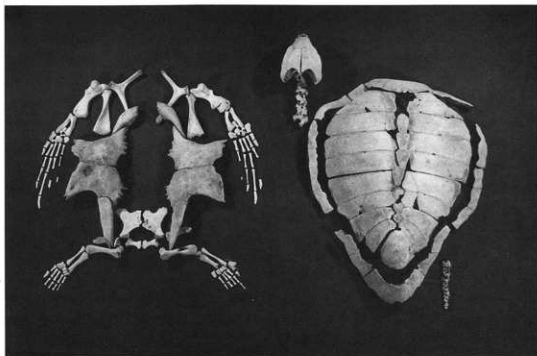


図2. 回収した全身の骨



図3. 回収した卵殻

# 年 報

平成 13 年度

◇平成 15 年 3 月 10 日発行

◇編集発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL0463 (61) 4700

FAX0463 (61) 4660